

平成25年度スマートコミュニティ構想普及支援事業 成果報告書（要約版）

補助事業者名： 杉並区、東京ガス株式会社

対象地域： 杉並区久我山一丁目・二丁目・三丁目

補助事業の名称： 杉並区(久我山一・二・三丁目地区)におけるスマートコミュニティ先導モデル構築事業

内容：

杉並区は、平成25年6月に「杉並区地域エネルギービジョン」を策定し、ビジョンで描くまちの将来像『災害に強く快適で環境にやさしいエネルギー都市 誰もが、いつでも、安心して快適に暮らせるまちすぎなみ』の実現を目指している。既成の住宅都市における災害時のエネルギー確保とスマート化による省エネルギーを促進するため、当地区を対象に「住宅・建物単体」「地域」「広域」の実施可能な施策の検討を行った。なお、当地区は、都市計画道路や計画都市公園の設置に伴う地区計画策定予定地域である。今後も継続して、事業化に向けた規模や仕組みづくり等の検討を行う。

<住宅・建物単体の取り組み>

『新築住宅のスマートハウス導入/既築住宅のスマートリフォームの実証実験』

地区内にスマートハウスを導入する新築住宅とスマートリフォームを行う既築住宅を対象に、実証実験のモニターを募集。モニターからエネルギーデータを提供してもらい、スマート化による省エネルギー効果の評価や省エネアドバイス等を行う。

また、スマート化された住宅の快適性、住民の住まい方やエネルギーに対する意識の変化等についてインタビューし、レポートとしてまとめ、区民へスマート化の有効性をPRする。

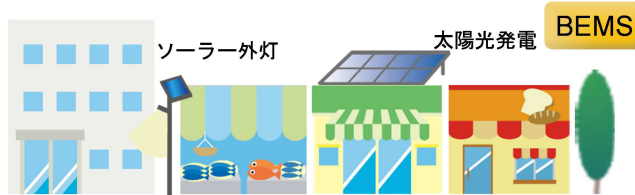
安全・安心なまちづくりと連携した取り組み、エネルギーデータを活用した環境学習等も検討する。



<地域の取り組み>

『地域エネルギー拠点・地域情報発信拠点の設置』

地区内の公共性の高い施設を地域エネルギー拠点として位置付け、非常時には地域で共用できるエネルギーシステムの導入を推進する。また、平常時は、エネルギーに関する相談や地域情報を入手できるような地域情報発信拠点の役割も担う。



『ICTを活用したエネルギーマネジメント・地域情報サービス』

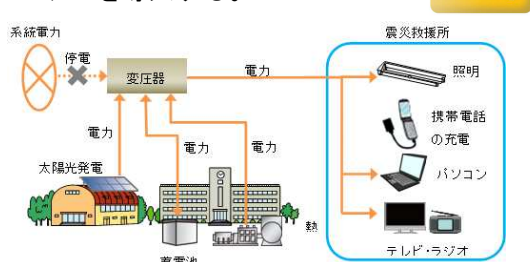


HEMSやBEMSをつなぎ、地域のエネルギーマネジメントを行う。また、地域情報等を発信し、区民と地域がつながるコミュニケーションツールとして活用も検討する。

<広域(行政)の取り組み>

『災害時避難・救援拠点の防災性向上』

震災救援所として指定されている地区内の区立学校に、災害時の機能維持・向上のため、建替え等に合わせて、エネルギーシステムを導入する。



『防災公園の整備とエネルギー面的融通』

地区内の公園にエネルギーシステムを導入し、災害時に周辺住民の一時避難所としての機能を維持することを検討・提案。近隣の施設へのエネルギー面的融通も一案として検討。

